

災害発生時の避難のため海拔表示を設置

東日本大震災を教訓に、市民の皆さんに防災意識を高めてもらうとともに、災害発生時の避難行動に役立ててもらうことを目的として、海拔（★）表示を設置しました。

★海拔：東京湾の平均海面を0メートルとして、全国的に統一した高さ。標高と同じ意味で使用。

■海拔表示板設置施設

①市指定避難場所 (公民館、小中学校、公園等)	158カ所
②市庁舎、各総合支所、東・西消防署	6カ所
③消防団詰所・蔵置所	89カ所
④海拔5m未満の幼稚園・保育所	16カ所
合計	269カ所

※①と③は市内平野部のみ

表示している数値は、表示板を設置している付近の地面の海拔を測ったものです。

なお、被害想定結果による最大津波高（国の想定3.6m、県の想定3.4m）を踏まえ、注意を促すために海拔5m未満の数値を赤字で表しています。

■問合せ

市庁舎新館5階 危機管理課防災連携係
TEL0897-52-1267



こどもの国に設置した
海拔表示板



大町公民館に設置した
海拔表示板

■海拔表示シール設置施設

海拔表示シールは、国、県の被害想定結果を踏まえ、津波浸水予測区域内にある市道および避難路の海拔4mの高さの位置に貼っています。

(街路灯や道路標識等200カ所)

■問合せ

市庁舎新館3階 建設道路課道路調査情報係
TEL0897-52-1232



街路灯などに設置した
海拔表示シール

4月からDIG、HUGを全ての自治会等で実施

西条市では、自治会・公民館を対象としたDIG (Disaster Imagination Game: 災害想像ゲーム)、HUG (Hinanzyo Unei Game: 避難所運営ゲーム) を4月から実施していきます。

DIGは、自分たちが住んでいる地区の地図を使い、危険な場所や、安全な避難経路はどこかといったことを地域住民自らが考え、自分たちで手作りの防災マップを作って、地域を改めて知ってもらうことを目的として実施します。

HUGは、地域の避難所となる公民館等の図面を使って、施設を避難所として使う場合に、どの部屋に何を配置するか、避難者の状況を考慮してどう運営していくかということを、避難所運営を主体的に担う地域住民自身で考えていくものです。

これらは、文字通り「ゲーム」感覚で参加できますので、地元の自治会などでDIG、HUGを実施する時には、皆さん、積極的にご参加ください。



■問合せ ○市庁舎新館5階 危機管理課危機管理係 TEL0897-52-1282
○東予総合支所内 危機管理課西部分室 TEL0898-64-2700 (内線161・162)